

# 和

広報誌

第87号

2024.3



公益社団法人 神奈川県柔道整復師会



# 目 次

巻頭言	会長	齋藤武久	...
理事挨拶	副会長	苅谷満郎	...
	副会長	田澤裕二	...
	総務部長	梅本彰吾	...
	財務部長	田代優樹	...
	保険部長	五十嵐一登	...
	学術部長	村山正	...
就任挨拶	広報部長	宮本嘉保	...
	事業部長	矢澤正司	...
	監事	高橋三叔	...
	監事	吉川栄智	...
協同組合	理事長	内藤晴義	...
県だより			
令和5年度定時総会開催報告	広報部		...
第42回神奈川県柔道整復師会柔道大会開催報告	広報部		...
令和5年度臨時総会開催報告	広報部		...
第44回神奈川県柔道整復師学術大会開催報告	広報部		...
健康支援プログラム開催報告(逗子市)	総務部長	梅本彰吾	...
横浜マラソン2023実施報告	広報部		...
令和5年「一般市民に対する学術講習会開催報告	学術部		...
健康支援プログラム開催報告(神奈川県)	総務部長	梅本彰吾	...
日整全国少年柔道大会開催報告	広報部		...
令和5年度テーピング講習会開催報告	広報部		...
令和5年度厚木市野球肘検査・栄養学講座・野球教室開催報告	総務部長	梅本彰吾	...
会員投稿			
神奈川県柔道整復師会へ入会して	横浜西支部	吉田茂	...
子供から気付かされたこと	横浜中支部	石井健太郎	...
接骨院業界におけるDX化について	相模支部	成澤允邦	...
短編小説「紙風船少女」	平塚支部	岩崎信哉	...
支部だより			
令和5年川崎支部機能訓練講習会、支部忘年会が開催される	川崎支部	古屋範明	...
令和5年川崎支部症例検討会が開催される	川崎支部	古屋範明	...
令和6年川崎支部賀詞交歓会開催される	川崎支部	古屋範明	...
横浜北支部意見交換会	横浜北支部	隆淳一	...
横浜南支部冬期学術講習会	横浜南支部	笠原秀造	...
令和5年度防災訓練	平塚支部	大久保吉純	...
大和市駅伝競走大会　スポーツ健康相談ボランティア活動	大和支部	奥田智秋	...
事務局だより	事務局長	小田通修	...
写真館			...
編集後記・表紙説明	広報部		...
川柳	平塚支部	石川照夫	...



「一を知って二を知らず」(莊子・天地)

はたまた

「一を聞いて十を知る」(論語・公冶長)

会 長 齋 藤 武 久

柔道整復師有資格者が、関係法規を重視しない風潮があることに対して、関係機関等に頼るだけでは問題の解決にはならないことは、会員各位には周知の事実であることはここに論ずるまでもないと考えています。

このような事象を、今後も増悪させないためには、このような事態を招く本質を追求すべき必要があり、そのために業界の将来を見据えた柔道整復師存続の展望を考える必要に迫られているわけであります。

柔道整復師法が単独立法として成立から既に約半世紀が経過し、柔道整復師法が、社会状況の変化にそぐわない部分もあることは事実であります。例えば、大規模災害時での救援救護活動がよりスムーズに実行できるための見直し等、現状に即した考え方に基づく改正が強く求められています。

実績のないことはしないという考えではなく、丁寧にエビデンスベースに基づいた説明をする必要が有ります。そのために柔道整復師業界からは発信するものが明確な説明のつもりでも、相手方(受け取る側)からすると、曖昧で不明確なことであっては理解に齟齬が生じ、ますます業界と相手方の乖離が大きくなる事態が予測されます。つまり、今一度、広く国民、地域住民に柔道整復師の業務を正確に、理解を得られるための広報活動は当然のことであり、そのために単に社会活動に参加するのみだけではなく、より積極的な地域社会と共有できる生涯教育の場の提供等を広く、確実に実行することで、いかなる社会状況の変化にも、進化し発展的に、また柔軟に対応できる柔道整復師の業務の正当性の理解を得る活動等が必要と考えています。

さらに柔道整復師は法律や関係法規・制度に則り、科学的根拠に基づき国家資格を与えられた職種であることを再認識し、そして、自分自身が終生、柔道整復師であり、そのための研究、研鑽が必然であると思います。

その物事の本質を知ることは甚だ困難な作業ではありますが、能登半島大地震の日整からの報告書、その他の新聞報道を読むと、テレビ・インターネットの映像、ラジオの言葉による放送、それらの伝達方法を超える文字のみによる表現方法で、そこにある現実が頭の中でハッキリと理解することができ、日本語の漢字・ひらがな・カタカナは、「一を知って二を知らず」(莊子・天地)を覆すための、最良のアイテムであり、かつ物事の本質に迫るため最高のアイテムと考えます。

最後に、柔整業界のさらなる多角的視点に基づく行動ができれば「一を聞いて十を知る」(論語・公冶長)、柔整業界も、地球の消費期限50億年とまではいかないかもしれませんが、生き残る術は、目の前に用意されていると希求するものであります。



## ご挨拶

副会長 苅谷 満郎

新型コロナウイルスの流行も、昨年5月に感染症法上の分類が5類へ移行されたことにより、徐々に世の中が落ち着きを取り戻し、以前の日常が戻ってきたことを実感できるようになりました。しかしながら、各施術所においては以前の状態に戻ったと実感することが難しい先生方が大半ではないでしょうか。

それは厚生労働省が発表するデータにもはっきりと示されており、平成25年度の4,025億円をピークに減少を続けていた柔整療養費は、コロナ禍に揺れた令和2年度には前年度比-10.9%の2,831億円まで減少しました（医療費は-3.2%）。しかし、翌年の令和3年度は前年度比で僅か+1.3%の2,867億円までしか戻っていません（医療費は+4.8%）。令和4年度以降はまだ発表されておきませんが、いまだ改善傾向に無いことは日々の施術のなかで否応なく感じられていることでしょう。

このような状況のなか、ご承知のとおり本会会館は老朽化のため事務局機能を維持することが困難となり、昨年通常総会の承認をもって8月末に仮事務所に移転しております。これまで、令和2年11月の会館運営委員会の立ち上げ以降、専門家の意見も取り入れながら今後の方向性について議論をしてまいりましたが、現在の仮事務所には賃貸料が発生していることから、いよいよ結論を出さねばならない時期に来ています。

本会は公益法人という特性上、国が定める「財務三基準」を遵守しながら運営することが求められています。これは、税制上の恩恵を受けていることから、必要以上に利益を貯めこんではならないという決まりです。もちろん収益事業を行うことで利益を多く求めることは可能ですが、利益が増した分、公益事業を増やす必要が生じることになります。そして、将来的にも常にこの基準をクリアしていくことが必須となります。

こうした条件下において、老朽化した会館をどうするのか。

理事会では、会員資産を守ることを第一義とし、先に述べたように決して経済状況がよくないなかで、会員へ実質的な負担を強いることは避けるべきであることも議論のなかで重視してきました。また、先達が残された資産であることも考慮しなければなりません。

しかし、いつまでも議論に時間を費やすことはできません。近々、理事会としての結論を導き出し、これまでの経緯、およびその判断根拠等について、会員に説明する場を設ける必要があると考えています。

詳細については、あらためてお知らせしてまいります。会館老朽化問題は、会員資産の問題であるということをご理解いただき、今後のご協力についてもお願い申し上げます。



## 柔道整復師業界の方向性と国際化

副会長 田澤 裕二

2016年6月から2年間（公社）神奈川県柔道整復師会業務執行理事、2018年6月から現在に至るまで代表理事副会長として業務を行っておりますが、それ以前の2007年の10月より現在に至るまで（公社）日本柔道整復師会の国際部員として大韓民国、モンゴル国、ミクロネシア連邦、ベトナム国その他においての活動をしております。そこには、今期の理事選挙の所信表明にも述べましたが、現在の大変厳しい柔整業界の状況化をただ手をこまねているよりも、業界の良き時代の恩恵を受けることができた一人として次世代に何か希望が持てるようにしなくてはならないという想いと責任。そして、今の自分には今までの経験を生かして何ができるのかとの想いがあります。その反面「こんな大変なご時世に何をわけのわからないことをしているんだ」「今そんなことをやってどうするんだ」という方々がいることも承知しており、現実的な言葉であると思っています。しかしながら、下記の写真のようにインフラの整備が乏しい多くの国々において私たちの柔道整復術が必要とされています。また、このような活動を通じて日本国内においても認知度の低い柔道整復師という職業を多くの人に知ってもらうきっかけになると信じており、何年後、何十年後には柔道整復術が世界で認知され必要とされることを目指し、信念を持った活動をしていつまでも夢物語を描いて動いていきたいと思っております。

現実的なことを述べれば、今事業であるベトナム国における約4年半の柔道整復術普及事業の計画目標が達成されれば JICA（国際協力機構）において専門職業と登録されます。



ベトナム国で2番目に大きい国立整形外科病院  
7:30の待合室の風景



地方から転院した骨折患者



## ご 挨 拶

総務部長 梅 本 彰 吾

会員の皆様には、平素より本会の運営にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。小職は、理事会より総務部長の役職を拝命されております梅本彰吾と申します。理事職は3期6年が経過し、4期8年目を迎えさせて頂き、法人運営や公益事業に携わって参りました。当時、神奈川県保健医療局より依頼された神奈川県が進める未病事業における地域支援プログラムに参加し、県民の健康に対する講演を実施し、本会のPR活動や本会会員の施術所の案内を行いました。

今年度は、神奈川県・逗子市・座間市への地域支援プログラムや厚木市少年野球協会学童部への野球肘検査に本会会員のご協力の下、実施してまいりましたので、この後の県だよりの中でご報告申し上げます。今後とも県民の健康と本会の発展に寄与できる活動をして参りますので、宜しくお願い申し上げます。



## ご挨拶

財務部長 田代 優樹

オリンピックイヤーを迎え、各関係機関の皆様におかれましては益々のご発展、並びにご健勝のこととお慶び申し上げます。並びに会員の皆様におかれましては日頃より本会の活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本経済は値上げの波が立て続けに押し寄せております。当初は世界的な流行と鎮静を繰り返していた COVID-19 による経済停滞、それに加えウクライナ情勢の影響や原油価格の高騰などのインフラストラクチャーに関わる原材料の高騰などが要因でしたが、現在は労働賃金の賃上げを含む、商品やサービスの価格を適正化することを目的とした値上げも多く見られるようになりました。神奈川県は全国で2番目に高額なうえ、令和2年の最低賃金が1,012円であったのに対し令和5年では1,112円と1割近くの増額となっており、東京を除く他県と比べ大きな負担となっております。

その結果、施術所の運営は材料費、光熱費、人件費等の増加が重くのしかかりながら、療養費については増額されないという苦しい状況が続いております。それは施術所の廃業数が年々増加傾向していることをみれば大きく影響していることは明らかであります。

それらの余波は当然として本会にも大きな影響を及ぼしており、請求件数や請求金額の減少が著しく、それに伴って会費収入も百万円単位での減収の見込みとなっていることなど、本会の経済状況に暗い影を落としております。財務部長として厳しい社会情勢に負けないように、本会が満足な活動を行えるよう会費の管理や費用の圧縮などに努めておりますが厳しい状況は続いております。

そのうえこの先には会館運営の諸問題やオンライン資格確認の導入、そして電子請求への切り替えなど、まだまだ大きな課題が待ち受けているため予断を許さない状況が続きます。そのような中でも、私としては会員の皆様にごできる限り負担をかけないこと、本会を未来につなげていくことを根底に据え、大きな課題を乗り越えていけるよう誠心誠意努めて参る所存です。

これからも齋藤会長を中心に理事者一同、会員の皆様のために力を合わせて参りますので、ご協力、ご信頼賜りますようお願い申し上げます。





## ご挨拶

保険部長 五十嵐 一 登

保険部長の重責を担うことになり、早くも2期目となりました。

これも偏に会員の皆様方の温かいご支援の賜物と心より深く感謝申し上げます。

近年、柔道整復療養費が減少し続けており、柔整療養費の実績は平成23年度の4,085億円をピークに令和2年度には2,831億円となっており、9年間で約1,250億円減少しています。さらに追い打ちをかけるようにエネルギー資源高騰による物価高や人件費上昇等に係る費用を料金に転嫁できず、多くの柔道整復師が柔道整復の施術だけでは施術所の運営にすら苦慮している状況であり、業界を取り巻く環境は厳しいものであることに変わりありません。このような時代の変遷とともに、その変化に対応すべき時に来ていると強く感じています。

本年、令和6年はオンライン資格確認がスタートし、療養費の料金改定が行われます。会員の皆様には、いち早く情報をお届けできるよう迅速な対応を心掛けてまいりますので、引き続き、皆様のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## ご挨拶

学術部長 村山 正

令和6年3月公益社団法人日本柔道整復師会第44回関東学術大会神奈川大会をカルッツかわさきにて開催し、特別講師にJA神奈川県厚生連伊勢原協同病院病院長鎌田修博先生に「腰痛のある人が腰痛のない人になるためのいい話」をご講演いただきました。大変有意義な学術大会となりました。

また、至らない点がありましたこと深くお詫び申し上げます。そして、ご協力いただきました関係各所の皆様に心より感謝申し上げます。

また本会事業は神奈川県柔道整復学術大会・新入会員学術講習会・一般市民に対する学術講習会として開催されましたが、会員の皆様の学術離れを危惧したところでもあります。柔道整復師として何をすべきか日々考えているところですが、日整で推奨している「匠の技」の事業を通し、業界全体で国民の皆様へ柔道整復師がどのような業務を行い社会貢献しているのかを理解してもらえるように、会員全員が学術の重要性を理解していくことで我々業界が向上していくのではないかと考えます。

公益社団法人神奈川県柔道整復会に関しましては、将来会員が不安なく柔道整復師業を行っていただけるように代表理事を筆頭に理事全員で何度も意見交換しながら努めていきたいと思っております。若い先生方のために何をすべきか自問自答の毎日です。本年度もよろしくお願い致します。



## 就 任 の ご 挨 拶

広報部長 宮 本 嘉 保

令和5年7月30日(日)開催の臨時総会で、会員皆様より温かいご支援を賜りまして理事に選任され、この度、広報部長を拝命いたしました平塚支部の宮本嘉保です。

会員の皆様にはこの紙面をお借りいたしまして改めまして感謝と御礼を申し上げますと共に、齋藤会長のもとで理事としての重責を全うすべく誠心誠意全力を尽くしてまいりますので、今後とも何卒宜しくご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年元旦に発生しました最大震度7の能登半島地震では、多くの方が犠牲となりました。本県の会員におかれましても被害に遭われたご親戚ご友人がおられることと思います。ここに、謹んでお見舞いを申し上げますと共に、被災された皆様が一日も早く日常の生活を取り戻すよう心よりお祈り申し上げます。

私は平成2年6月に本会へ入会して今年で34年目を迎えますが、昔と今とでは社会情勢がすっかり変わってしまいました。2019年12月に中国から始まったとされる新型コロナウイルス感染症は、現在、5類感染症として移行いたしました但未だ「第10波」として神奈川県内でも一医療機関あたりの感染者数は増え続けておりますので、まだまだ油断は出来ない状況です。2022年2月にはロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まって既に700日を超えるものの戦況は一向に沈静化せず、私たちの日常生活にもエネルギーの高騰や衣食住に至るまで物価は上昇し続けております。令和5年12月12日(火)神奈川県民医療推進会議が主催する「国民医療を守るための神奈川県総決起大会」が横浜市中区富士見町の神奈川県総合医療会館にて開催され、物価高騰が国民生活および医療機関に及ぼす影響を看過できない水準にまで達しているの、政府に早急なる対応をして戴きたいとのことで本会齋藤会長、以下理事全員が賛同して参加いたしました。先般、令和5年度医療機関等物価高騰対応支援金として神奈川県より1施術所に対して上半期分3万円、下半期分3万3千円を支援金として支給されることになりました。支援金自体は大変ありがたいことではありますが、私たち柔道整復師にとりましては「焼け石に水」の状況であります。令和4年度の概算医療費は46兆円とされておりますが、私たちの柔道整復療養費につきましては厚生労働省保険局調査課の資料から平成23年度の4,085億円をピークに毎年減り続け、令和2年では15年間近く3,000億円以上で推移していましたが2,831億円となって減少に歯止めがかからない状況となってきております。一方、厚生労働省からの公表によります柔道整復師国家資格者の就業数は、2010年(平成22年)の50,428人から2020年(令和2年)には75,785人となっており、10年間で25,357人増加しております。日整財務担当理事に就任されました本会齋藤会長の話では、日整会員の約半数が年収300万以下であると言っておられました。必要経費をいくら削って経営努力をしてみましても収入が増えなければ益々生活は苦しくなってきます。社会経済状況が改善することと柔整療養費本体の電療光熱費等の改定が行われるよう政府に強く期待するところがあります。最後に任期までの15か月間、足りない頭を最大限に活用して職務に励んでまいりますので、どうか会員皆様のご理解とご協力を衷心より御願ひ申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



## 業務執行理事就任挨拶

事業部長 矢澤 正司

令和5年7月30日に開催された臨時総会では、多くの信任を頂き業務執行理事に就任できたことを会員の皆様方には深くお礼申し上げます。

その後、事業部長を担当することになり早くも半年が過ぎようとしております。

昭和60年8月に本会に入会させていただき、支部役員を経て平成15年に横浜西支部長就任以来、神奈川県柔道整復師協同組合では14年理事を務め、又（一社）横浜市柔道整復師会では現在も副会長の職務を継続させていただいております。

支部長会では支部長退任まで4期8年支部長会の代表を務め本会理事との合同会議や要望書の提出等で各支部長から寄せられた会員の声を届けてまいりました。

現在は本会の業務執行理事となりましたが、20年以上も会員目線で職務を遂行してまいりました経験を生かさなくてはなりません。

そこで数年前から大きな問題となっていたのは会館老朽化問題です。支部長会代表として会館運営委員会の小委員会に出席させていただき色々な意見を交換してまいりましたが、建設業者選択の後半諸事情により振出しに戻り、そこで年度末を迎え役員改選となり支部長を退任いたしました。しかし会館老朽化問題には心残りがあり、中枢に入り仕事をいたしたく、この度業務執行理事に立候補させていただいた次第であります。

今では事業部長となり理事会や行事に参加している中、会館建設以外にも課題が山積みであることを改めて実感しておりますが、今の仮事務所は毎月高額な賃料が発生しており会員皆様の積立金の減少を最小限に抑えなくてはなりません。理事会でも会員の皆様に会館建設のこの先をわかりやすく説明できるように議論を重ね納得できるような選択案をいくつか絞ってまいりました。

現在の経済情勢では物価高騰、収入減少など、我々業界の取り巻く環境は決して明るいものではありません。

この先も本会の収入は減収をたどってゆく方向にあると想定されておりますが、まだ我々には土地という財産があります。未来のために今の財産をどう生かしていくかが会館老朽化問題につながります。会員の皆様方には多数の意見があることも承知いたしております。そこで会員に向けての説明会が行われると思いますので未来のためのご意見ご協力宜しくお願いいたします。

最後に経済情勢を見据え、我々業界の立ち位置を考え、会員皆様と共に力を合わせ将来に対し明るいビジョンが抱けるまで持てる力を出し切り職務に精勤致します。

至らぬこともあると存じますが会員のお役に立てるよう努めてまいりますのでご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



## 就 任 の ご 挨 拶

監事 高橋 三叔

会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

令和5年5月28日の定時総会におきまして、皆様より信任を受けました監事の高橋三叔です。

はじめに、今年元旦の「令和6年能登半島地震」によりお亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りいたしますと共に被害に遭われました方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、今までの会館では耐震基準を満たしていない為、職員の安全確保が課題になっておりましたが、昨年8月末の事務所仮移転により改善されました。これも会員の皆様のご理解があったからだと思っております。しかし、会館問題は先送り出来る問題ではなく、数年の内に確定させなければならない問題です。

約600名の会員全員が100%納得する決着はないと思っております。しかし、少しでも多くの会員に了承して頂けるような理事会審議になるよう監事として職に努めてまいります所存です。

会員の皆様におかれましては一層のご理解ご協力をお願い申し上げます、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。



## 就 任 の ご 挨 拶

監事 吉 川 栄 智

会員の皆様におかれましてはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素より本会の運営にあたり多大なご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

昨年7月の臨時総会に於いて監事に選任戴き半年が経過致しました。会員の皆様には多くの御信任を賜り厚く御礼申し上げます。

前監事からの引き継ぎ業務を経て、公益社団法人の監事の責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いで日々業務にあたっております。

新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に変更されて久しく、世間では日常を取り戻したかのように言われておりますが、物価高騰やコロナ禍での減収など我々の業界を取り巻く環境はまだまだ厳しい状況にあります。本会に於いても会館老朽化やオンライン資格確認への対応などの様々な課題を抱えております。一つ一つの課題を会員の皆様と共有しながら対処することが、健全な会の運営となり業界の発展にも繋がるものと考えます。これからも公益社団法人として誇りを高く持って社会に貢献し、決して信頼を失うようなことが無いよう、そしてまた本会の運営が適正に行われ、会員の利益が損なわれることが無いように高橋監事と共に監事の業務を務めたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## ご 挨拶

神奈川県柔道整復師協同組合

理事長 内 藤 晴 義

令和6年が始まり、途端に能登で震度7の地震が発生しました。被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。やはり生活道路が寸断されてしまい、不自由な生活を余儀なくされる方も大勢いらっしゃいました。その他、ライフラインである水道、電気の供給も、現在では欠かせない無線電話回線、インターネットの寸断が発生しました。

首都圏でこれが生じたらどうなるだろう？ おもわずそう思われた方も多くいらっしゃったことと推察いたします。その後、最大震度4の地震が東京湾を震源として発生し、首都圏在住の多くの方が、首都圏直下型大地震の前兆をその脳裏に描かれたものと思います。

さて、このような年明けとなりましたが、我が業界にも大きな変化がでてくるような気配となってきました。保険証のマイナンバーカード化に伴う変化はもうじき我が業界にもやってきそうですが、果たしてすんなり移行できるか不安です。現状ではこの保険証の資格確認がどういうものかみえていません。保険証の代わりになり、自動的にレセコンに保険証内容が転記されるのか、そうではなく、ただ単に資格確認だけしかできないのか、これも現段階では不明です。

そのあたりのことにつきましては、状況が判明次第、組合PC教室等でフォローさせていただくことができれば良いのではないかと考えているところです。公社役員の皆様には是非ご一考いただければ幸いです。

当組合もこれらデジタルトランスフォーメーション、いわゆるDXへの対応を考えていますが、何をやるにも相当の予算が必要になり、具現化するにはコスト面での検討を行い、個々の負担増につながらないような考慮が必要になると考えています。

このように取り巻く環境が徐々に変化してきております。会館も老朽化し、会員の平均年齢の上昇、入会者の減少、当県の柔道整復師療養費請求総額も対前年同月比を昨年是一年間上回ることがありませんでした。

この業界の景気が上向きであればさまざまな策を講じ、新たな展開を行うことも良いのですが、景気の良かった時代に行ったことをそのまま行うことも許容されない時代になったといえます。

移ろいゆく時代に即した対応をその都度考慮し、各自さまざまな情報媒体から得られる情報を分析し、その中からたとえ現在マイノリティーとなる意見であってもその信憑性を注意深く精査し、最適と判断した道を歩むしかありません。

付和雷同的な視点で行く道を判断することは今後、危険性を孕むことになるでしょう。

彼のイギリスの元首相のチャーチルの名言の一つに  
「過去にこだわるものは、未来を失う。」

という言葉があります。まさに今の我が業界にとっては考慮すべき問題となってきました。

例えば、いくら時代の流れに逆行しようと思っても、2023年12月25日発表になった2022年度日本の一人当たりの名目GDPは世界のGDPに占める割合の、僅か4.2%、主要7カ国中最低となってしまいました。現在、我が国においては少子高齢化もとまりません。医療、介護、社会福祉への社会保障費は上昇分より人件費等の必要経費が上回る可能性が大きく、安定した経営ができるということでもなくなりつつあります。そして我々に対する保険調査の件数も減少してくる訳でもありません。これが現在の我々の現状です。

一方、他国において、医師でも一カ月のまとまった年次長期休暇がある中で、我が国の医療従事者の疲弊度は上がる一方です。

このような状況において、過去の繁栄にこだわった施策だけでは現状の改善が立ち行かないことはすでに明白です。現状の変化に則した変化を受け入れつつ、新しく変えてゆくべき手法は積極的に取り入れ、残すべきものをきちんと継承する。しかし、それでも消滅するものにはこだわらず、新しい繁栄を構築することに努力し続ける。ここらが我が業界が存続する意義であり、使命感をもって臨まなければならないことだと考えています。

ただ、これらを具現化するためには、会員各自が現状の問題を理解し、どのような対策が必要となるか論じてゆく必要性がでてきています。各自が他人事と思わず、自己の利益のみに囚われ過ぎず、自身を含めて業界の問題として大きな問題分析し、いくつもの小さな成功を作り出し、その小さな成功が未来を構成する大きな要素になってゆくことが大所高所からみている望まれているものと思っています。これら歴史的な変化を前にして柔道整復師が新たな道を切り開くことを切に願い、ご挨拶とさせていただきます。



# 令和 5 年 定 時 総 会 開 催 報 告

## 広 報 部

令和 5 年 5 月 28 日（日）10 時より、本会会館にて令和 5 年度定時総会を定款に基づき開催いたしました。令和 5 年 3 月 31 日現在、議決権を行使する権利を有する総会員数は 627 名、休会者 9 名、総会開催日までの退会者 2 名、有効会員数 616 名、総会出席者 64 名、議決権行使の総数 435 個であり、本定款第 22 条及び 23 条の規定により定時総会は成立いたしました。議事に進む前に永年在籍表彰がありました。

### ★ 6 0 年 表 彰

齋川治利 会員（川 崎）

### ★ 5 0 年 表 彰

川合 茂 会員（大 和） ・ 小川 明 会員（湘 南）  
藤原 恭一 会員（川 崎） ・ 笠原 巖 会員（横浜中）  
石毛 文治 会員（平 塚） ・ 木村都優司 会員（横浜中）  
井上 洋 会員（横浜南） ・ 牧野 吉一 会員（湘 南）

### ★ 4 0 年 表 彰

駒井 昌広 会員（横浜南） ・ 亀岡 龍雄 会員（川 崎）  
三村 辰男 会員（横浜中） ・ 青山 弘 会員（川 崎）  
渡辺 英一 会員（湘 南） ・ 和田 秀樹 会員（横浜中）  
福永 幹夫 会員（横浜西） ・ 青柳 博 会員（小田原）  
辻村 克巳 会員（平 塚） ・ 成見 邦夫 会員（横浜中）  
原 壯嘉 会員（川 崎） ・ 須佐 重夫 会員（横浜中）

### ★ 3 0 年 表 彰

田中 久雄 会員（川 崎） ・ 久乗 崇 会員（横浜中）  
須佐 修 会員（横浜中） ・ 前島 和伸 会員（平 塚）  
金本 大志 会員（大 和） ・ 齋川 修治 会員（川 崎）

議長－立花 健 会員（横浜中）、副議長－小林哲也 会員（横浜南）、議事録署名人として議長及び全理事者が選出されました。

第 1 号議案 令和 4 年度事業報告の承認について

第 2 号議案 令和 4 年度決算報告の承認について

第 1 号議案、第 2 号議案について監査報告がありました

第 3 号議案 会館建設積立資金の取り崩しについて

第 4 号議案 周年事業積立金の取り崩しについて

第 1 号議案から第 4 号議案までの全ての議案は賛成多数にて可決承認されました。

第 5 号議案 役員選任について

	当日投票総数		56 票	
	議決権行使書数		435 票	
	総投票数		491 票	
	過半数		246 票	
会長選任				
	齋藤武久	候補	(川崎)	455 票 信任
副会長選任				
	荻谷満郎	候補	(横浜中)	431 票 信任
	田澤裕二	候補	(横浜南)	436 票 信任
理事選任				
	村山 正	候補	(横浜西)	430 票 信任
	田代優樹	候補	(大和)	439 票 信任
	五十嵐一登	候補	(相模)	431 票 信任
	梅本彰吾	候補	(相模)	429 票 信任
監事選任				
	高橋三叔	候補	(相模)	446 票 信任

全候補者が選任に必要な票数を獲得し、それぞれの立候補した役職に選任されました。

第 6 号議案 審議委員選任について

	上倉隆男	候補	(平塚)	信任
	石渡吉治	候補	(横須賀)	信任
	大友隆雄	候補	(横浜北)	信任
	櫻田博昭	候補	(横浜中)	信任
	徳留義見	候補	(相模)	信任

## 第42回神奈川県柔道整復師会柔道大会開催報告

### 広 報 部

令和5年7月2日(日) 横浜市武道館において標記大会を開催いたしました。  
 新型コロナウイルス感染症の猛威が幾分落ち着きを見せたことにより、本年度は制限を設けずに一般会員を除いた少年柔道大会と形競技大会を開催することになりました。当日は猛暑の中、十分な感染症対策を行い無事に終了することが出来ました。大会結果は以下の通りとなりました。



### 選抜チーム

監督	根岸 清道
先鋒	石田 昊士 (長澤道場)
次鋒	小田 廉斗 (朝飛道場)
中堅	岡本隆之介 (朝飛道場)
副将	安部 勇馬 (長澤道場)
大将	柴山 空 (小向クラブ)

### 形の部

監督	室田 次朗
取	小宮 桃香 (室田道場)
受	平林 空音 (室田道場)





## 令和 5 年臨時総会開催報告

### 広 報 部

令和 5 年 7 月 30 日（日）10 時より、本会会館にて令和 5 年度臨時総会を定款及び総会運営規則に基づき開催いたしました。令和 5 年 3 月 31 日現在、議決権を行使する権利を有する総会員数は 627 名、休会者および令和 5 年度臨時総会開催日までの退会者 16 名、有効会員数 611 名、総会出席者数 34 名、議決権行使の総数 444 個であり、本定款第 22 条及び 23 条の規定により臨時総会は成立いたしました。

議長－小林哲也 会員（横浜南）、副議長－高橋廣成 会員（湘 南）、議事録署名人として議長及び全理事者が選出されました。

第 1 号議案 役員選任について

当日投票総数	34 票
議決権行使書数	444 票
総投票数	478 票
過半数	240 票

理事選任

矢澤正司	候補	（横浜西）	390 票	信任
宮本嘉保	候補	（平 塚）	430 票	信任

監事選任

吉川栄智	候補	（川 崎）	448 票	信任
------	----	-------	-------	----

全候補者が選任に必要な票数を獲得し、それぞれの立候補した役職に選任されました。

◇令和 5 年臨時総会後の新役員体制◇

理事の職制について以下の通り決定いたしました。

◎代表理事

会 長	齋藤武久
副会長	苅谷満郎・・・会長代理副会長 担当部－保険部・会館老朽化問題担当
副会長	田澤裕二・・・担当部－総務部・財務部・学術部・広報部・事業部

◎業務執行理事

総務部長	梅本彰吾
財務部長	田代優樹
保険部長	五十嵐一登
学術部長	村山 正
広報部長	宮本嘉保
事業部長	矢澤正司

◎監 事 高橋三叔・吉川栄智



各部員の職制を以下のとおり決定いたしました。

◎各部員

総務部	山崎陽介	部員（湘南）	山崎慎也	部員（小田原）
財務部	太田洋平	部員（川崎）		
保険部	高橋尚三	部員（小田原）	新堀友章	部員（横浜南）
学術部	山後恭一	部員（大和）	山口善弘	部員（大和）
広報部	二宮嘉信	部員（横浜北）	高橋雄一	部員（大和）
事業部	八木雅之	部員（相模）	八廣学	部員（川崎）

各委員会等委員を以下の通り決定いたしました。

◎審議委員会

上倉隆男	委員（平塚）
石渡吉治	委員（横須賀）
大友隆雄	委員（横浜北）
櫻田博昭	委員（横浜中）
徳留義見	委員（相模）

◎法制委員会

二宮嘉信	委員（横浜北）
有賀和彦	委員（横浜中）
下山一幸	委員（相模）
小林桂樹	委員（大和）
新谷久志	委員（平塚）

◎災害対策委員会

委員長	齋藤会長
副委員長	苅谷副会長・田澤副会長
委員	梅本総務部長・宮本広報部長・矢澤事業部長

◎災害時救援救護隊員

本部長	齋藤会長
隊長	田澤副会長
（東部）各支部長	（西部）各支部長
隊員	各支部会員

◎ボランティア委員会

委員長	齋藤会長
副委員長	苅谷副会長・田澤副会長
委員	梅本総務部長・宮本広報部長・矢澤事業部長

◎接骨ボランティア神奈川

代表	田澤副会長
副代表	梅本総務部長・宮本広報部長・矢澤事業部長
地区代表	各支部長

◎公益推進委員会

委員長	田澤副会長
副委員長	矢澤事業部長
委員	梅本総務部長・宮本広報部長

◎会館運営委員会

委員長 齋藤会長  
副委員長 荻谷副会長（委員長代行）・田澤副会長  
委員 梅本総務部長・田代財務部長・五十嵐保険部長  
村山学術部長・宮本広報部長・矢澤事業部長

外部委員について以下の通りとしました。

◎日整代議員・日整補欠代議員

日整代議員 齋藤会長・荻谷副会長・田澤副会長  
日整補欠代議員 梅本総務部長・田代財務部長・五十嵐保険部長  
日整・関東生涯学習担当者・・・村山学術部長  
日整通信員・・・田澤副会長  
日整協同組合総代・・・齋藤会長

◎関東ブロック会理事

常任理事 齋藤会長  
理事 荻谷副会長・田澤副会長・梅本総務部長・村山学術部長

◎神奈川県体育協会トレーナー部会派遣部員・・・新堀友章 会員（横浜南）

◎相談役について

齋川治利（川崎）・川口禮敬（川崎）・江田三男（横浜南）  
和田秀樹（横浜中）・牧野吉一（湘南）

◎令和5年度各支部長について

川崎支部	関口 浩
横浜北支部	二宮 嘉信
横浜西支部	左右田 和
横浜南支部	有賀 和彦
横浜中支部	小林 哲也・（支部長会代表）
湘南支部	高橋 廣成
横須賀支部	増川 俊太郎
平塚支部	足立 唯
相模支部	庄司 健一
大和支部	山後 恭一
小田原支部	田代 昌孝

## 第 44 回神奈川県柔道整復学術大会報告

### 広 報 部

令和 5 年 9 月 2 4 日(日)午前 1 0 時より、学校法人 呉竹学園 呉竹鍼灸柔整専門学  
校において第 44 回神奈川県柔道整復学術大会が開催されました。

苅谷満郎副会長の開会の辞に続きまして、令和 4 年度県議会議長賞表彰式があり、大  
和支部の渡部真弘会員に表彰状が贈られました。この度の特別講演では、本会湘南支  
部の医学博士 森 倫範先生にご講演をいただきました。森先生は公益社団法人日本  
柔道整復師会の災害対策室に在籍され、また日本柔整災害協議会の副代表を務められ  
ております。令和 5 年 2 月 6 日に発生しましたトルコ地震の際にも直ちに救護活動に  
向かわれて大変ご活躍をされました。今回、森先生には「海外自然災害現場から見た  
柔道整復師の未来」のご講演を賜りました。学術交流発表では公益社団法人東京都柔  
道整復師会より、西沢正樹先生が「右第 5 中手骨頸部骨折 1 症例」の発表がありまし  
た。一般会員発表は 6 題で、発表された皆様には日常診療のお忙しい中、貴重なご研  
究を発表くださいましたことに深く敬意を表しますと共に、心より厚く御礼を申し上  
げます。

#### 〈特別公演〉

演 題 「海外自然災害現場から見た柔道整復師の未来」  
講 師 公益社団法人日本柔道整復師会 災害対策室  
日本柔整災害協議会副代表  
公益社団法人神奈川県柔道整復師会  
医学博士 森 倫範先生



#### 〈学術交流〉

「右第 5 中手骨頸部骨折の 1 症例」

公益社団法人東京都柔道整復師会 西沢 正樹会員

#### 〈会員発表〉

「地域イベントにおける健康年齢測定会 横浜中支部 藤井 俊介会員

「災害時における四師会の取り組みと柔道整復師の関わりとして」

横浜西支部 左右田 和会員

「手根管症候群の対応について」

川 崎支部 鈴木 崇之会員

「第 5 中足骨基部骨折 (Jonse 骨折) 1 症例のエコー画像とレントゲン画像から  
見た治癒過程の検討」

湘 南支部 小野 博道会員

「国際大会でのメディカルサポートに向けた取り組みと今後求められること」

大 和支部 山後 恭一会員

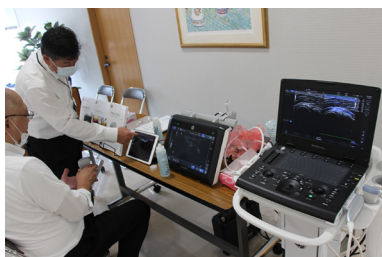
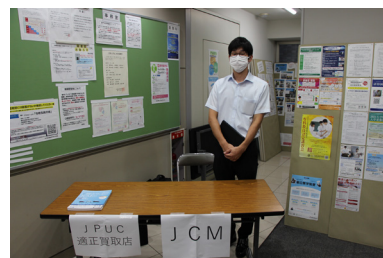
「静止立位時の足圧分布とスポーツ発生率との関連性」

小田原支部 青柳 博会員





## 協 賛 企 業



### 第 4 4 回 神 奈 川 県 柔 道 整 復 学 術 大 会 結 果 報 告

令和 5 年 9 月 2 4 日 (日) に 開 催 いた しま した 標 記 学 術 大 会 の 結 果 に つ き ま して は、

第 一 席 小 野 博 道 会 員 (湘 南) 総 得 点 3 4 6 点

演 題 「第 5 中 足 骨 基 部 骨 折 (Jonse 骨 折) 1 症 例 の エ コ ー 画 像 と レ ン ト ゲ ン 画 像 か ら 見 た 治 癒 過 程 の 検 討」

第 二 席 鈴 木 崇 之 会 員 (川 崎) 総 得 点 3 0 2 点

演 題 「手 根 管 症 候 群 の 対 応 に つ い て」

以 上 の 結 果、令 和 6 年 3 月 3 日 に 開 催 さ れ ま す 第 4 4 回 関 東 柔 道 整 復 学 術 大 会 神 奈 川 大 会 に 小 野 博 道 会 員 が 神 奈 川 県 代 表 と して 発 表 頂 き、鈴 木 崇 之 会 員 に は 令 和 6 年 開 催 予 定 で あ り ま す 第 4 2 回 東 京 都 柔 道 整 復 師 会 学 術 大 会 の 学 術 交 流 発 表 者 と して 派 遣 す る こ と に 決 定 いた しま した。

## 健康支援プログラム開催報告【逗子市】

総務部長 梅 本 彰 吾

健康支援プログラム（逗子市）実施結果について（報告）

標記のことについては、下記のとおり報告いたします。

記

1 実施日時

令和5年10月17日(日)午前10時～午前11時45分

2 実施場所

逗子アリーナ

逗子市池子1-11-1

3 従事者

総務部長 梅本 彰吾

総務部員 山崎 慎也

事務局 小田 通修

4 受講者

26人

※ 性別、年齢区分等は別紙アンケート結果参照

5 実施内容

本健康支援プログラムは、神奈川県が取り組んでいる県民の未病改善につながる事業の一環であり、逗子市国民健康課の申請に基づいて実施したものです。

(1) 足裏測定システム「フットルック」を使い、受講者の足裏の圧力分布、重心位置等を測定した後、梅本総務部長が講師として足の構造等を講演するとともに、転倒防止のための動的関節制御訓練(DYJOKU)をスポンジやプラスチックボール等を使って実技指導しました。

(2) 実技後、参加者の希望により、再度、足裏の分圧を測定し、状態が改善されていることを確認させるとともに、測定結果に基づいて参加者個々の足裏の状態を解説し、エクササイズのポイントを指導しました。

(3) アンケート結果の感想欄に記載いたしましたように、参加者には、足に特化した転倒防止のための各種訓練の有効性を実感してもらえました。

(4) 訓練後、足裏機能の向上が期待できるフットフィットを、希望者に体験していただきました。

6 その他

状況写真を添付します。

## 10.15 逗子市健康支援プログラム（於いて：逗子アリーナ）



会場前の人出



会場案内状況



会場内の状況



講師による座学



講師によるストレッチ説明





エクササイズ後効果確認



足底再測定状況



フットフィット体験

## 10.15健康支援プログラムアンケート結果

### 1 回答者関係

① 回答者数	23人							
② 回答者性別	男性	7人	女性	16人				
③ 年齢層	40歳代	2人	60歳代	6人	70歳代	7人	80歳代	8人
④ 回答者住所	逗子市	20人	葉山町	0	鎌倉市	0	横浜市	3人

### 2 プログラムに関する質問

① 今回のプログラムをどのようにして知りましたか。

・市の広報紙 10 ・市のホームページ 1 ・知人から聞いて 8  
 ・その他（スポーツの祭典に参加したついで 1 体操教室の先生の勧め 2 不明 1）

② 転倒防止・腰痛予防に足裏の健康保持がかかわっていることを理解出来ましたか。

・できた 20人 ・あまりできなかった 2人 ・回答なし 1人

※ 「あまりできなかった」と回答した方は、途中からの参加者です。

③ 時間設定について

・適当 20人 ・短い 1人 ・回答なし 2人

④ 紹介したエクササイズを自宅等でを行いますか

・行う 21人 ・行わない 0人 ・分からない 1人 ・無回答 1人

※ 「回答なし」の方は、途中からの参加者です。

### 3 神奈川県柔道整復師会の名称について

・聞いたことがある 3人 ・聞いたことがない 19人 ・無回答 1人

### 4 神奈川県柔道整復師会の公益事業について

・知っている 1人 ・知らない 20人 ・無回答 2人

### 5 未病について

① 未病（ME-BYO）という言葉

・聞いたことがある 21人 ・聞いたことがない 1人 ・無回答 1人

② 「未病」の意味をご存知ですか

・知っている 17人 ・知らない 4人 ・無回答 2人

### 6 ご意見・感想

- ① 今日のトレーニングを日々取り入れたいと思う（女性・67歳）
- ② これから自分の体を大切にしようと思う（女性・80歳）
- ③ 足裏トレーニングで脳と筋肉の関係が鍛えられることがよく理解できた（男性・72歳）
- ④ 体操の指導の先生の話と同じことが紹介され、この先頑張っていこうと思った（男性・68歳）
- ⑤ 定期的にやって欲しい（女性・65歳）
- ⑥ 楽しく座学、エクササイズが出来ました（63歳・女性）

# 横浜マラソン 2023 実施報告

広 報 部

## 1. 実施日時

令和 5 年 10 月 29 日（日）

## 2. 実施場所

横浜みなとみらい臨港パーク

## 3. 活動内容

横浜マラソン組織委員会より「ケア・コンディショニングサービス」の協力依頼を受けて

神奈川県柔道整復師会より矢澤事業部長・宮本広報部長・八廣事業部員

二宮広報部員・高橋広報部員の 5 名が参加

全日本鍼灸マッサージ師会、神奈川県鍼灸師会、日本按摩マッサージ指圧師会、神奈川県鍼灸マッサージ師会、横浜市鍼灸マッサージ師会より 10 名、株式会社スパイラルの田中より 5 名が各テントに分かれて対応した。

柔道整復師会のテントに訪れたマラソン参加者は 4 名と非常に少なく、

下肢の痙攣、大腿部挫傷、下腿部挫傷、両下肢の攣れであった。

午前 7 時 30 分集合から午後 4 時解散に至るまで、怪我もなく無事終了致しました事をご報告いたします。

横浜マラソン 2023 当日、夜半から降っていた雨は上がって良い天候となりました。

大会は 6 部門に分かれていて約 2 万 5 千人が参加いたしました。ゴール地点のすぐそばには救護所が設けられて、近いところから医師会のテント、看護協会のテント、救急救命士会のテントなどが設営されました。体調が悪い参加者は、医師がトリアージを行い、重症者は待機中のけいゆう病院の救急車、横浜市消防局の救急車、日体大付属クリニックの救急車の 3 台にて 5 名程病院へ搬送されました。怪我でないものについては医師が診察した後、ケア・コンディショニングサービスの方へカルテを回して、サービスを受けた後に医師の方へカルテを返すと言った手順でありました。

我々柔道整復師会のテントに来られた参加者は 4 名と非常に少なかったのですが、医師会の方も同じで今年は患者が随分と少なかったと聞いております。

この度のケア・コンディショニングサービスを仕切っていた、公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会の朝日山 一男先生が最後のご挨拶の中で、「我々の出番が少なかったということはとても良いことだ。」と言っていた言葉が心に残りました。

各テント内では、横浜マラソン組織委員会が用意してくれたレンタルの簡易ベット 2 台と折り畳み椅子 5 脚、大袋の氷 2 袋が入った保冷ケース、タオル、保温シート、毛布、アクエリアス 1 箱などがありました。

待機時間が非常に長かったこともあり、当日参加された他団体の先生たちと意見交換を行いとても有意義な時間となりました。





## 令和5年度「一般市民に対する学術講習会」開催報告

### 学 術 部

令和5年11月12日(日) 午前10時より、本会事務所大ホールにおいて標記学術講習会を開催いたしました。当日は会員7名、一般市民17名、村山・梅本・宮本理事、山後・山口・二宮部員の計24名が参加いたしました。

講師はJBA公益財団法人 日本バスケットボール協会技術委員会スポーツパフォーマンス部会・ユース育成部会所属の星川精豪先生による「バスケットボール障害に対する運動療法」と題しましてのご講演をいただきました。バスケットボールにおけるスポーツ障害と成長障害のメカニズムと予防を指導者の立場から懇切丁寧にご教示頂き大変ためになる講習会となりました。



## 健康支援プログラム開催報告【神奈川県】

総務部長 梅本 彰吾

健康支援プログラム（大井町；ビオトピア）実施結果について（報告）

標記のことについては、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 実施日時  
令和5年11月19日(日)午前10時00分～午前11時25分
- 2 実施場所  
足柄上郡大井町山田300  
未病バレー「ビオトピア」セミナールーム
- 3 従事者  
総務部長 梅本 彰吾 総務部員 山崎 慎也、同 山崎 陽介  
事務局 小田 通修
- 4 受講市民  
9人 内訳 女性6人、男性3人
- 5 実施内容  
【座学に先立ち、三々五々会場に到着される参加者の足底バランスを測定しました。】
  - (1) 座学開始前位に、神奈川県か本プログラムの企画に携わっている「公財かながわ健康財団」担当者から本プログラムの趣旨説明、本プログラムを申請した神奈川県地域政策課担当者より未病バレー「ビオトピア」の紹介がありました。
  - (2) プログラムは、配布資料「腰痛・転倒防止プログラム 健康な身体づくりは足の健康から」に基づき、座学及びエクササイズを実施しました。
  - (3) エクササイズ終了後、参加者に再度足底バランスを測定してもらい、改善成果を確認していただき、更に全てのプログラム終了後、希望者には足裏機能の向上が期待できる、フットフィットを体験していただきました。
  - (4) 参加者入場時及び計測機器のアルコール消毒を徹底しました。
- 6 成果  
プログラム終了後も複数の参加者から足底バランス改善方法を質問されるなど、足の健康の重要性を認識していただくことが出来ました。
- 7 その他
  - (1) プログラム実施後徴取したアンケートについては、後日、県より共有していただけます。
  - (2) 状況写真を添付します。

## R5.11.19 健康支援プログラム

(未病バレー「ビオトピア」：神奈川県地域政策課)



開催前事前足底測定



開催前測定評価



公財かながわ健康財団担当者の挨拶



神奈川県担当者による「ビオトピア」



プログラム開始・座学の状況



エクササイズ前ストレッチの状況



足趾把持訓練



プログラム終了挨拶



プログラム終了後個別指導



フットフィット体験状況



会場内



机上配付資料

## 「足裏健康と腰痛・転倒防止プログラム」アンケート

本日は「足裏健康と腰痛・転倒防止プログラム」にご参加いただき、ありがとうございました。お手数ですがアンケートにご協力をお願いします。

該当するものに○をつけてください

### 1 ご自身について

( 2 女性

(

(

(

2 夫婦のみ 3 親子 4 三世帯 5 その他

### 3 内容、時間設定について

#### ① 内容は理解できましたか

1 よくできた 2 まあまあできた 3 あまりできなかった 4 できなかった

#### ② 内容に満足されましたか。

1 満足した 2 まあまあ満足した 3 あまり満足しなかった 4 満足しなかった

選ばれた項目の理由を教えてください

[

]

#### ③ 時間設定は適切でしたか

1 適切だった 2 時間が短すぎた 3 時間が長すぎた

4 その他 ( )

#### ④ 本日のプログラムで得たものを日常生活で活かそうと思えますか

1 活かそうと思う 2 わからない

3 活かそうと思わない(理由: )

うらに続きます

⑤ 今後、実施してほしい 座があれば、教えてください。

[ ]

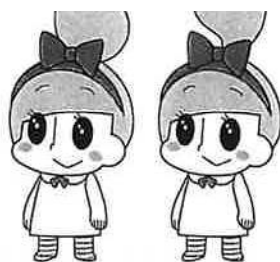
5 me-byo エクスプラザに来館されたことはありますか

1 来たことがある 2 今回初めて来た

6 そのほか、ご意見、ご感想などがあれば記載してください

(

アンケートは以上です  
ご協力ありがとうございました



## 健康支援プログラム 実施結果報告

腰痛・転倒予防プログラム 健康な身体づくりは足の健康から

実施日 : 令和 5 年 11 月 19 日 (日) 10 時 30 分 ~ 12 時 30 分

実施場所 : 未病バレービオトピア オフィス棟セミナールーム 小

参加人数 : 8 名

内容 : 足底分圧測定、講義、実技(足裏運動等)、Foot Fit 体験

講師 : 神奈川県柔道整復師会 梅本 彰吾 氏

団体スタッフ 4 名

対象 : 一般県民



講義



足底分圧測定



実技



配布資料



## 「足裏健康と腰痛・転倒防止プログラム」アンケート

出席者 8名 回答者 8名 回答率 100%

### 1. ご自身について

#### ①性別 回答数8件

	人数	比率
男性	3	37.5%
女性	5	62.5%
計	8	100%

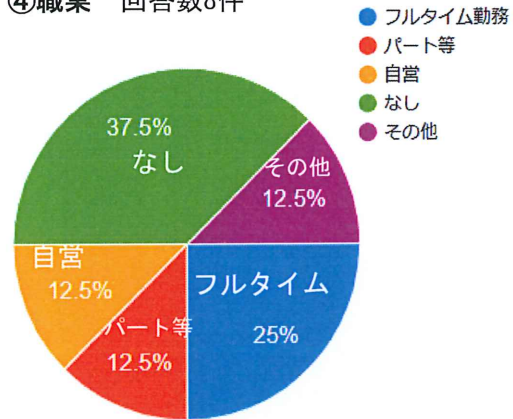
#### ②年齢 回答数8件

年代	人数	比率
50歳代	2	25.0%
60歳代	4	50.0%
70歳代	2	25.0%
計	8	100.0%

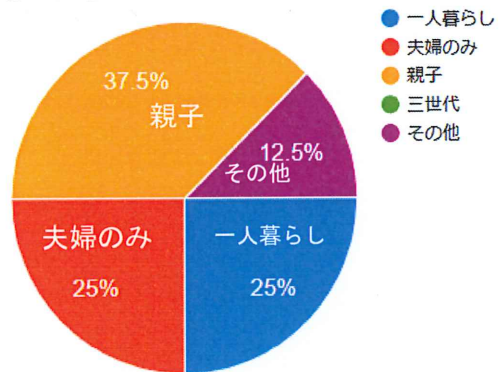
#### ③お住まい 回答数8件

市町村	人数
小田原市・足柄下郡	1
南足柄市・足柄上郡	3
横浜市・川崎市	2
湯河原町	1
相模原市	1
計	8

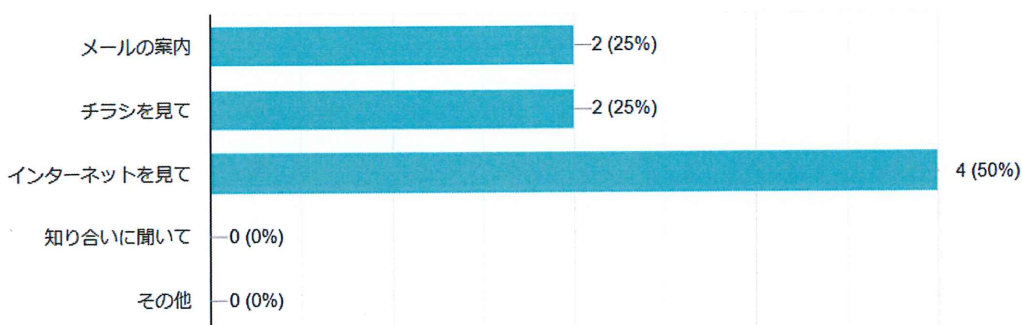
#### ④職業 回答数8件



#### ⑤家族構成 回答数8件

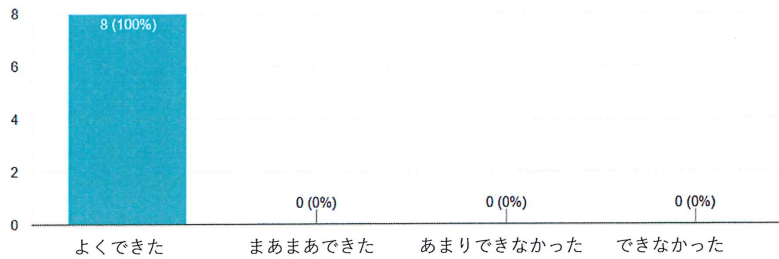


### 2. 本日のプログラムをどうやって知りましたか 回答数8件

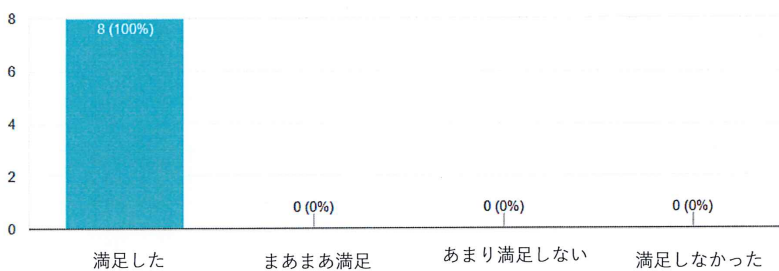


### 3. 内容、時間設定について

#### ①内容は理解できましたか 回答数8件

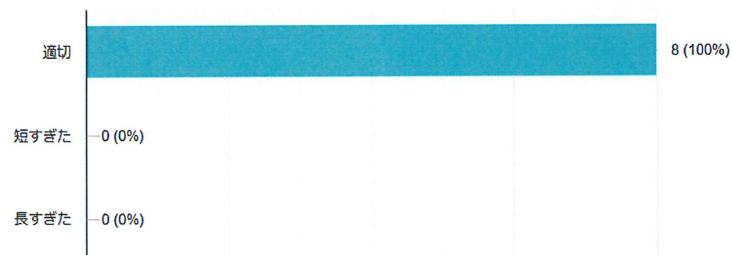


#### ②内容に満足されましたか 回答数8件

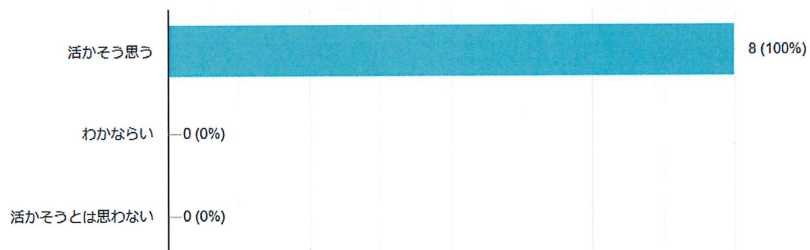


- ▷理由
- ・ 分かりやすく勉強になったので実行したい (回答原文のまま記載)
  - ・ 正しい歩行方法が理解できた
  - ・ 足(脚ではなく)の特に裏の大切さを納得できたし、体感できた
  - ・ とても解りやすく体験、体感できました

#### ③時間設定は適切でしたか 回答数8件



#### ④本日のプログラムで得たものを日常生活に活かそうと思えますか 回答数8件



#### ⑤今後、実施してほしい講座があれば、教えてください

- ・ がんにならない為にはどうしたら良いか (回答原文のまま記載)
- ・ ストレッチ方法
- ・ 「足」についてひろめてほしい

4. 未病 (ME-BYO) について

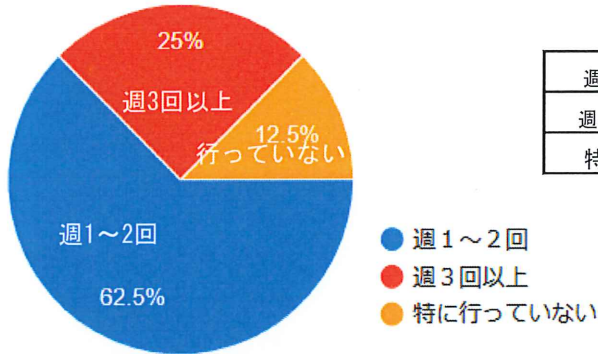
①未病 (ME-BYO) という言葉を聞いたことがありますか 回答数8件

ある	8
ない	0

②未病 (ME-BYO) という言葉の意味について知っていますか 回答数7件

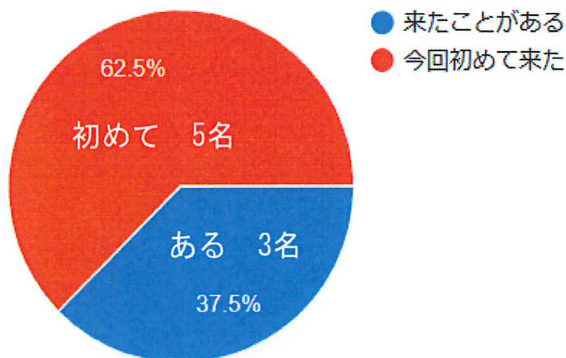
知っている	6
知らなかった	1
未回答	1

③未病改善の取組み(バランスの良い食事、運動、人との交流など)を日頃行っていますか 回答数8件



週1～2回行っている	5
週3回以上行っている	2
特にやっていない	1

5. me-byoエキスポラザに来館されてことはありますか



6. その他

- ・楽しく勉強できた。
- ・とても参考になりました。
- ・また講座があれば参加したいと思います。
- ・楽しかったです。また機会があれば参加させてください。
- ・このようなプログラムを増やして欲しいです。

(回答原文のまま記載)

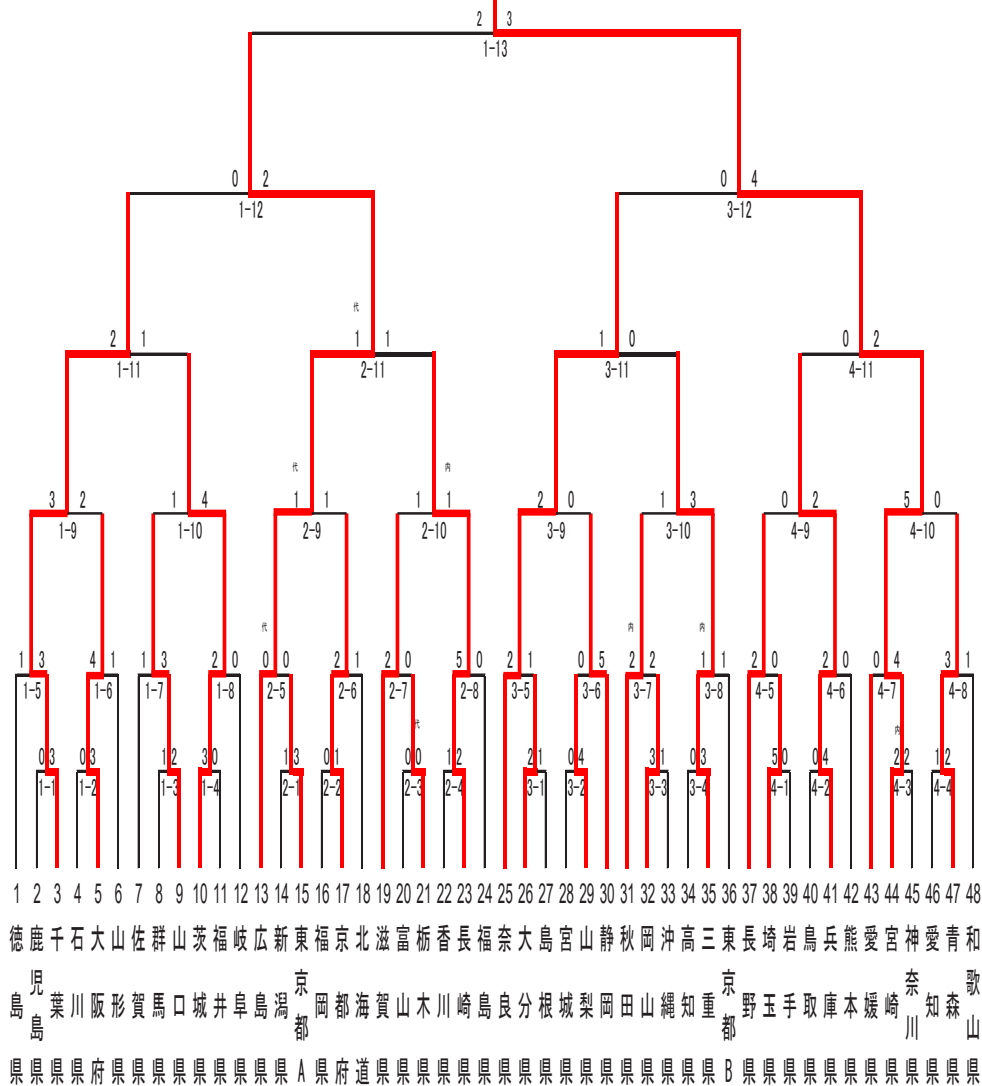
# 日整全国少年柔道大会開催報告

## 広 報 部

令和5年11月19日(日)、「日整全国少年柔道大会」「日整全国少年(形)競技会」「全国柔道整復師高段者大会」が講道館にて開催されました。第42回神奈川県柔道整復師会柔道大会で選出されました選抜チームの監督－根岸清道(横須賀支部)、(先鋒－石田昊士、次鋒－小田廉斗、中堅－岡本隆之介、副将－安部勇馬、大将－柴山 空)選手は日整全国少年柔道大会の1回戦で、運悪く優勝した宮崎県代表と当たり健闘むなしく敗退いたしました。日整全国少年(形)競技会のCブロック会場では、監督－室田次朗(湘南支部)、(取－小宮桃香・受－平林空音)選手はブロック3位で惜しくも決勝進出ならずとなりました。監督、選手の皆様には大変ご苦労様でした。

## 第32回日整全国少年柔道大会試合結果

優勝 宮崎県



## 第13回日整全国少年柔道「形」競技会 結果

### 予選

#### Aブロック

第1試合場

順序	チーム	得点
1	福岡県	64.3
2	高知県	64.8
3	鳥取県	66.1
4	三重県	63.6
5	岡山県	72.7
6	佐賀県	65.0
7	宮城県	66.4
8	徳島県	68.6
9	宮崎県	70.9
10	長野県	70.0
11	北海道	76.8
12	-	

#### Bブロック

第2試合場

順序	チーム	得点
1	山口県	55.7
2	島根県	67.5
3	新潟県	62.7
4	奈良県	75.2
5	京都府	62.0
6	福井県	59.8
7	石川県	61.1
8	兵庫県	78.0
9	福島県	59.1
10	群馬県	67.3
11	東京都	77.5
12	岩手県	63.9

#### Cブロック

第3試合場

順序	チーム	得点
1	千葉県	52.0
2	愛媛県	50.9
3	神奈川県	62.3
4	大阪府	67.0
5	長崎県	57.0
6	愛知県	64.3
7	富山県	61.1
8	和歌山県	57.0
9	秋田県	欠
10	茨城県	61.1
11	栃木県	53.9
12	-	

#### Dブロック

第4試合場

順序	チーム	得点
1	山梨県	65.7
2	埼玉県	66.6
3	山形県	65.0
4	静岡県	72.0
5	青森県	73.6
6	大分県	68.0
7	沖縄県	65.2
8	香川県	73.2
9	岐阜県	70.9
10	広島県	65.2
11	滋賀県	74.5
12	熊本県	68.4

### 決勝

第1試合場

順序	チーム	得点	順位
1	愛知県	70.3	8
2	兵庫県	78.5	1
3	大阪府	75.9	3
4	滋賀県	73.5	4
5	岡山県	72.7	6
6	北海道	72.0	7
7	東京都	77.9	2
8	青森県	73.2	5

## 令和5年度テーピング講習会開催報告

広 報 部

1. 開催日時

令和5年12月10日（日） 午前10時～12時

2. 開催場所

神奈川県柔道整復師会新事務所大ホール

3. 講師

栗山敬輔 会員（湘南支部）

- ・ 経歴－日本大学文理学部体育学科卒・アリゾナ州立大学トレーナー学科卒・日東電工二トリートテーピング事業部就職  
上野池之端の金井整形外科、井田名倉堂栗山接骨院にて研修  
神奈川県体育協会トレーナー部会会員・日本柔道整復接骨医学会認定柔道整復師

4. 講演内容

上肢の外傷に施すテーピング固定方法について（口演実技形式）

5. 参加者

役員－梅本理事・村山理事・矢澤理事・宮本理事（4名）

部員－二宮広報部員・高橋広報部員（2名）

一般－整形外科勤務柔道整復師（6名）・本県公社会員（10名）

計 22名

6. 令和6年度テーピング講習会開催に向けて

テーピング講習会は、今までは横浜マラソンの救護活動に向けて開催されておりましたが、今年度は横浜マラソン2023終了後に行う事となりましたので、応急手当てに限らず日常診療で行うテーピング固定を口演実技形式で質疑応答を行いながら進められ、参加された整形外科勤務柔道整復師には大変好評でありました。テーピング材料につきましては、今まで本会で使っていた救護バックの中に残されている劣化したテーピング等を極力使用いたしましたが、来年度はテーピング講習会で使うホワイトテープ、キネシオテープ、自着性伸縮テープ等を開催日までに新しく揃える必要があると思いました。



## 令和5年度厚木市野球肘検査・栄養学講座・野球教室開催報告

総務部長 梅本彰吾

### 令和5年度厚木市学童野球チームと厚木市中学校軟式野球部への野球肘検査・栄養学セミナー・大学生による野球教室・Baseball 5への会員派遣に係る報告について

標記につき、同席医師監修の下、以下のマニュアルに基づいた超音波画像観察装置を用いた「野球肘」に対する観察評価を選手170名に対して実施いたしました。

無症状で経過する上腕骨小頭離断性骨軟骨炎が3症例の陽性を認め、医科での精査加療を薦め、その他、内側型やリトルリーグズショルダー等の症例に対して、選手本人やご家族、指導者を含め、指導管理を実施いたしました。

**日時** 令和6年2月11日（日）

**場所** 神奈川工科大学

**時間** 9時30分～10時30分 栄養学セミナー（父母・指導者）

10時30分～14時 肘検査・野球教室・Baseball 5

**対象** 厚木市 現小学4、5、6年生 現中学1、2年生（3年生）

**主催** NPO法人B・Basis

**協力** 厚木市少年野球協会学童部・神奈川工科大学硬式野球部・（公社）神奈川県柔道整復師会・有志医師  
厚木市中学校教諭・ボランティアスタッフ

**本会参加者** 総務部長 梅本彰吾・総務部員 山崎慎也・総務部員 山崎陽介・学術部員 山口 善弘

#### 【スケジュール】

8：30 スタッフ集合 場所：K3号館講義室1階

9：10 受付開始 場所：K3号館講義室1階

9：25 参加者全員へイベント内容説明と挨拶 場所：K3号館講義室1階

9：30～10：30 栄養学セミナー（父母・指導者対象） 場所：K3号館講義室1階講師：菅先生

※（9：30～10：15）小中学生グループ分け、ウォーミングアップ 場所：KAIT スタジアム

10：15 開講式（司会：寺崎先生） 場所：KAIT スタジアム

10：30～14：00 肘検査・大学生による野球教室・BASEBALL 5（寺崎先生）

※（12：20～40 昼食休憩） 場所：KAIT スタジアムスタンド

講師：NPO法人B.Basis・神奈川工科大野球部・中学校教諭・藤嶺典優氏



【注記】 肘検査の際、検査結果をお伝えするため各チームから必ず大人 1 名以上が付き添いをお願い致します。  
(医師または柔道整復師からの指示を聞いてください)

**(野球肘検査の流れ)**

1 問診票の記入：各チーム保護者がサポート



2 可動域検査・視診・圧痛（内側上顆・円回内筋共同腱・尺側手根屈筋・肘頭）



3 エコー検査

方法：チーム名と割り振った番号を登録 ※データは集めます。

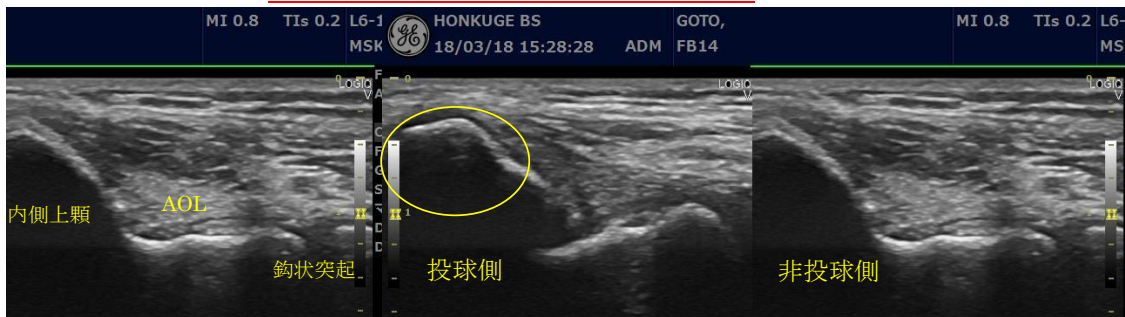
エコー設定：Gn6 0 基本

**内側型観察** - 座位にて肘 30 度屈曲・前腕回外位ポジション      プロ  
ープ長軸

内側上顆にあてプローブを尺骨軸に対し約 20～30 度傾ける（AOL に沿って）内側上顆 AOL（前斜走靭帯）尺骨鈎状突起を映し出し 1 枚保存

↓異常なし      ↓不整像・裂離像と思われるもの

外側型の検査      **健側対比を必ずしてください。対比 1 枚保存**



— 内側型異常評価の指導方法 —

**内側型の症状が強く出ている生徒は都賀先生に診て頂きます。**

**既往歴のあるもので現在症状ない場合**は、今後痛める可能性があるため投げ方や投球数に注意を払うように指導してください。

**既往歴なしで不整像・裂離像がある場合**は、今後痛める可能性があるため投げ方や投球数に注意を払うように指導してください。

**外側型観察** - 座位にて肘完伸展位・前腕回外位ポジション      プロープ長軸

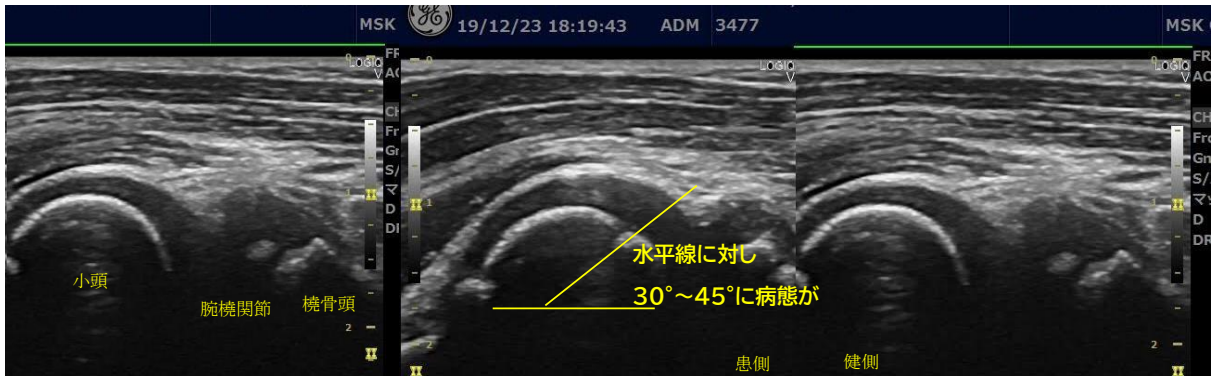
①腕橈関節に対して前面より長軸にて当てがう

※注意！！ 離断性骨軟骨炎（OCD）は小頭外側から発症します。小頭を外側から内側にプローブを移動し観察してください。

上腕骨小頭 腕橈関節 橈骨頭 1 枚保存      ↓異常なし

↓不整像と思われるもの

横軸像へ      **健側対比を必ずしてください。対比 1 枚保存**

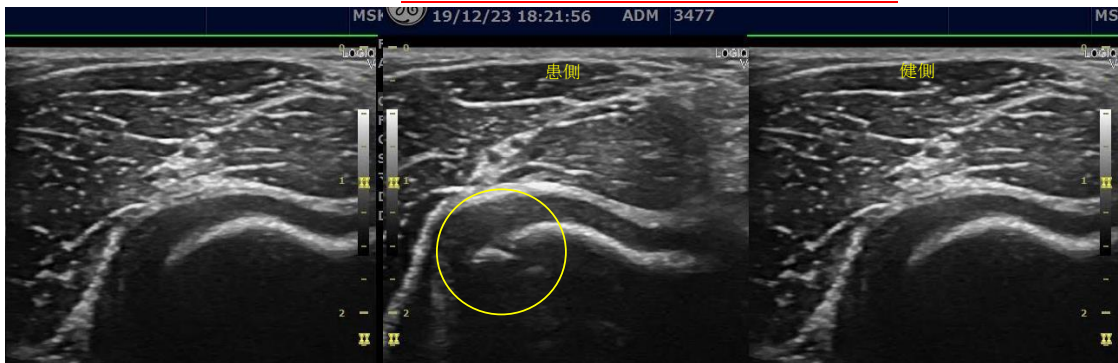


② 上腕骨小頭に対し短軸像へ

※長軸像のみだと見落とす可能性があるため！上腕骨小頭の腕橈関節に近い部分  
上腕骨小頭関節面外側部を中心に 1枚保存

↓異常なし      ↓不整像と思われるもの

**健側対比を必ずしてください。対比1枚保存**



— 外側型異常評価の指導方法 —

**可動域制限や痛み、エコー上陽性所見がある場合は医師に診て頂きます。**

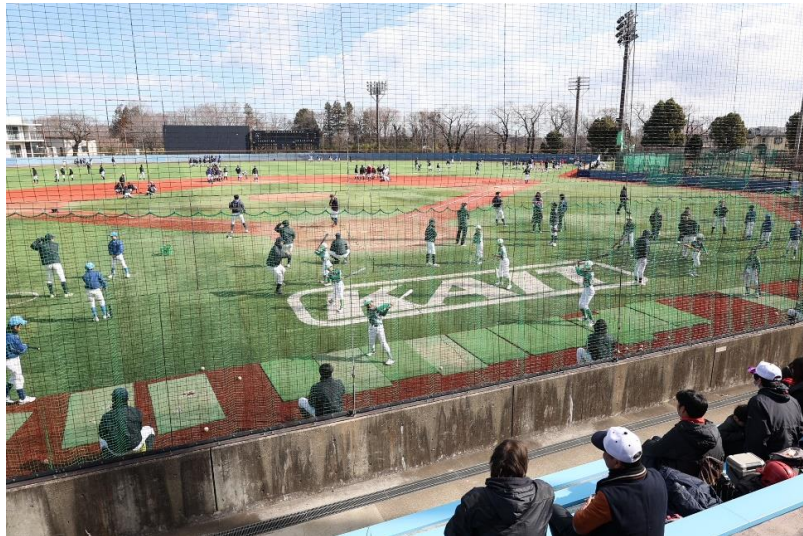
現在症状ない場合は、「しっかり検査しましょう！」確定診断をもらえるまで投球は控えるように指導してください。

超音波画像観察装置による観察評価 会場風景





神奈川工科大学硬式野球部選手の野球指導



---

## 「神奈川県柔道整復師会へ入会して」

---

横浜北支部 吉 田 茂

---

皆様、こんにちは。私は横浜北支部の吉田茂です。神奈川県柔道整復師会の新たなメンバーとして入会いたしました。この素晴らしい機会を得て、ここに入会することができたことを心から嬉しく思っています。

新入会員として、初めての印象は温かい歓迎でした。会長や理事の方々から叱咤激励、事務の方々から丁寧な案内があり、支部長・支部員の方々も親しみやすく、質問にも快く答えてくれました。

また、会の活動やイベント、地域の健康、福祉、災害、スポーツ現場での活動に参加することで、多種多様な専門知識の向上だけでなく多くの仲間たちとの交流も深めることができ感謝しています。

これからも神奈川県柔道整復師会の一員として、国民のための柔整学の受益に全力で取り組んでゆきます。同じ柔整師のみなさんと共に歩むこの旅が素晴らしいものになることを楽しみにしています。どうぞよろしく願いいたします。

## 「子供から気付かされたこと」

横浜中支部 石 井 健太郎

---

---

子供がタイタニックのある場面を見て質問してきました。タイタニック号が沈没するとわかり救命ボートに移る場面です。

「女性と子供から乗ってください」

子供になんで女性と子供が先なの？と聞かれました。

私は、男性が女性と子供を守るのが当然という価値観で見ていたのでなんの疑問にも思わなかった場面でした。

調べてみるとタイタニック号が起きた20世紀初頭の欧米人の富裕層には、女性に対する差別がありました。恋愛の自由、結婚の自由、外出の自由もなかったのです。そして、このような差別と引き換えに、女性が優遇される社会システムができていたのです。男性には、このような差別によって不遇を受けている女性を積極的に手助けしなければならなかったのです。

男女平等が徹底している現在の価値観で見ると、分かりにくいのかもかもしれません。

今の子供達の世代では意識せずにごく当たり前の考え方でそこから生まれる単純な質問だったのです。

近年ではSDG s（持続可能な開発目標）が求めるジェンダー平等やダイバーシティ（多様化）&インクルージョン（受容）の推進において、LGBTQへの理解が不可欠とされています。正直ジェンダー平等や多様性という言葉をよく耳にするものの、どこか自分とはあまり深く関係のないことだと考えていました。

柔道整復師という仕事柄、乳児から高齢者まで幅広い年齢層の方が来院されます。男性施術者、女性施術者が治療できる範囲の大前提は変わらないものの、今まで普通にできていた治療が普通じゃなくなる事もあるかもしれません。

治療技術のアップデートは当然の事、現代社会ではこのような問題も意識的にアップデートし患者さんとの接し方なども気を付けなければならないと強く感じました。またその事を子供から気づかされるとは思いもよりませんでした。

---

## 接骨院業界における DX 化について

---

相模支部 成 澤 允 邦

---

近年、様々な業界でキャッシュレス化や AI の導入が進む中、我々接骨院業界はこの波に遅れていると痛感いたします。

これらは、良い悪いではなく、時代の流れによるものなので、対応出来なければ淘汰されるという厳しいものでもあります。予約システムや顧客管理システムなど有料のサービスは無数にあり、費用さえ払えば、便利なツールはいくらでも手に入ります。

しかし、業界全体の動向を考えると、そのような有料サービスに使うほどの余力はないと考えます。また、柔道整復師の新卒者は、3000人を下回り、慢性的な人材不足が蔓延しています。大手グループ院により、ほとんどの学生が夏頃には内定先を見つけており、個人院の先生が、新卒の柔整師を採用することはほぼ不可能と言っても過言ではありません。そんな中、個人院として少しでも差別化を図ろうと思えば、院内の DX 化を進めることも一つの方法であると考えます。当院では、予約に Google のスプレッドシートを使って管理を行い、患者さんとのやり取りは LINE を使っています。これにより、患者さんはわざわざ電話をかけるという手間がなくなり、自分のペースで予約を入れたり、キャンセルや変更を行えるので重宝しています。また、私が所属する相模原では、休日当番を行っており、会員の希望日を集計する際に Google フォームを使うことで、集計にかかる時間を大幅に削減することに成功しました。因みにこれらのシステムは全て無料であり、誰でも簡単に使うことができるため、ただ苦手という 2 文字で片付けるにはあまりにもったいない。もちろんこの文章は、自分で書いていますが、チャット GPT を使えば、こういった文章もたったの 30 秒～1 分くらいで書けてしまうでしょう。そういったことを知っているか、知らないままかでは、今後の時代に大きな差を生むであろうことは火を見るよりも明らかでしょう。まずは、調べる。そして使ってみる。触れてみなければ分からないことは、無数にあります。それを繰り返していけば、必ず役に立つ時がきます。今では普通に使っているスマホも最初から今のように扱っていたでしょうか？結局は同じことの繰り返しを、やるのか、何かしらの理由を付けて避けるのかは、各個人の自由です。できれば挑戦し続ける側でありたいと思っています。

## ～短編小説～

### 「紙風船少女」

平塚支部 岩 崎 信 哉

古いおもちゃだが、昔は紙風船でよく遊んだものだ。  
 繊細で儂げな紙風船。  
 不思議な物で、空気が抜けている状態からでも、手のひらでポンポンと跳ねさせているとだんだん膨れてくるのだ。  
 そのくせ、遠くへ飛ばそうと叩くと割れてしまう。  
 そんな儂く雅な遊び、子供ながら大好きだった。  
 だから、結婚して娘ができた時、迷わず「風香」と名付け、紙風船を扱うように大切に育ててきた。  
 「お父ちゃん、お父ちゃん。」  
 と風香はいつもぼくの後を付いてまわる。  
 僕は紙風船みたいに、彼女の将来が膨らむように、手のひらでポンポンと風香を扱う。  
 「お父ちゃんは」はやがて「お父さん」という呼び方に成長して、習わせたピアノも算数教室も驚く程に飲み込みが早く、僕には自慢の娘になっていく。  
 紙風船は遠くへ飛ばそうとしていないのに、順調に飛んでいる。  
 「お父さん、少し下手だけどショパンが弾けるのよ。」  
 風香は白く細い指でショパンを奏でる。  
 僕の親心は満足。  
 ショパンは少したどたどしいけれど、心地いい。  
 紙風船育児法は成功だな・・・  
 と僕は思う。  
 「絶対遠くには飛ばさないぞ。強く叩いたら紙風船は割れてしまうのだから。」  
 精一杯働いて、やっと買ったアップライトピアノだったけれど、風香のピアノの腕前はぐんぐん上がり、算数教室はやがて数学塾に変わり、親のスネは頑張っただけで細くならないようにして・・・  
 風香は成績が良いこともあり、音大へと進学した。  
 「合格おめでとう、風香。」  
 「ありがとう、お父さん。私ピアニストになる夢を絶対叶えるからね！」  
 僕の持っていた紙風船は思っていたよりずっと大型だったみたいで、ポンポンと弾ませていたら、いつの間にかとても大きく膨らんでいた。  
 あまりの大きさに、「僕が風香の父で良かったのかな？」と最近では思ってしまう。  
 風香は才気煥発。  
 家にはいつもショパンが響いていて、いつの日か生のピアノなのか、CDなのか分からない程になっていた。

音大を優秀な成績で卒業した風香は、ある日背の高い外国人の男性を連れて家に帰ってきた。

正直、「ついにこの日が来たか・・・」というのが、僕の感想。

案の定、風香は言った。

「お父さん、私この人と一緒にポーランドに行きたいの。ショパンコンクールを目指すから。」

聞けば、青年はポーランド人。

在日歴は長く、日本語も上手だった。

「お父さん、風香さんと一緒にやらせてください。ポーランドはショパンコンクールの本場です。二人でショパンコンクールに入賞して立派なピアニストになります！」僕は悟っていた。

どんなに大事にしても、紙風船は所詮は紙。

いつかは古くなって、遠くへ飛ばそうとしなくても割れてしまう。

僕と風香にも、そういう時期が来たんだな・・・

僕は風香が驚く程あっさり言った。

「娘をよろしくお願いします。立派なピアニストになってください。」

「ありがとうございます。」

青年は深く頭を下げた。

風香は大粒の涙。

それを見た僕は、初めて紙風船を渡した時の幼き風香のキラキラした瞳を思い出していた。

完



## 令和5年川崎支部機能訓練講習会、 支部忘年会が開催される

川崎支部 古屋 範 明



令和5年12月2日(土)18時より、ホテル精養軒に於いて、コロナ禍で中止していた機能訓練講習会を、外部より講師をお招きし開催しました。川崎支部の会員21名が参加し、深い学びの時間となりました。

今回は、湯本 祐基 先生（柔道整復師・日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー）をお招きしまして、講習会内容：急性外傷、回復に向けてのリハビリテーション～肉離れを例に～という内容で講義をして頂きました。スライドを見ながら講義いただき、実際にテーピングを貼って分かりやすく会員に説明頂きました。ご自身の経験からのお話を沢山いただき、普段我々が臨床上多くみられる内容を、急性期から、回復期までの方向性を細かく教えて頂き、会員の質問にもお答え頂きました。

湯山先生はお話を伺うと、若手ながら元麻布でLIFE CREATE株式会社の代表で、有名アーティストやプロ選手の帯同もなさっているとの事。今後もこちらからテーマを立ててお願いし、色々教えて頂きたいというお話もさせていただきました。良いお返事も頂きましたので、こういった会を今後も続けて行い、会員のスキルアップに繋がる有益な時間になるようにしていきたいと思っております。



その後は、湯本先生も交えて支部の忘年会を久しぶりに行き、互いにコロナで苦勞した話など会話に花が咲きました。  
今回も、ご尽力いただきました、支部長、役員の会員、企画した学術部長お疲れ様でした。



## 令和5年川崎支部症例検討会が開催される

川崎支部 古屋 範 明



令和5年6月24日18時より、島脳神経外科整形外科に於いて、コロナ禍で中止されていた症例検討会が、4年ぶりに開催されました。

川崎支部の会員25名が参加し、島脳神経外科整形外科副院長であり、川崎支部の顧問医でもあります、夏山元伸医師より、普段より対診をお願いしている患者様のデータについて、細かくご説明頂き、対診依頼をした会員はもとより様々な症例についての学びを深めることが出来ました。



痛み止めなど処方薬の話では、サインバルタ、リリカ、タリーゼなど、各薬の特性や処方量などのお話があり、普段患者様から聞く薬についての理解が深まりました。

また、前十字靭帯損傷の画像の着目点、X-P上でどういうサインを判断しMRIの撮影に移るのかというお話や、大腿部挫傷の血腫の対処法のお話し、最近のMRIにおけるペースメーカーの装着者の対応が可能で有ること。特

に驚いたのは労災でMRIが撮影できない点や、頭部外傷等で無ければ初診でMRIは撮影出来ないなど、医療の裏話をお聞きすることも出来ました。



さらには、会員より対診した症例以外の質問にもお答え頂き、特に会員の興味を引いたのは、肩関節における、人工関節置換術のお話では、リバーズ型の説明とX-P写真を見させていただき、骨頭と関節窩が逆の形に作られている様子には驚きました。

最後には夏山先生ご自身の骨切りの体験の話で、カルシウム摂取の重要性、一日800g摂取する必要性があり、納豆がおすすめであることをお話頂きました。

夏山先生も、面白可笑しく説明頂き、出席した会員皆さんも堅苦しくなく、笑いを交えるなかで深い学習の時間となりました。

4年ぶりの症例検討会を迎えるにあたり、支部の活動にご理解いただき、お集まりいただきました会員の皆様本当にありがとうございました。

そして、関口支部長はじめ、当日ぎりぎりまで準備にあたった学術部長の内野先生、サポート役の各部長の先生方本当にお疲れ様でした。

## 令和6年川崎支部賀詞交歓会開催される

川崎支部 古屋 範 明



令和6年1月20日18時00分より武蔵小杉の精養軒において、40名近い会員、県内選出議員の先生方、市歯科医師会、市看護協会、市薬剤師会、顧問医、市柔道協会などご来賓含め総勢80名程の参加を頂き、実に3年振りとなる川崎支部の賀詞交歓会が挙行されました。

本年は、1月1日に起こってしまった能登半島地震の事も有り、開会に先立って黙祷を捧げ、ご来賓方々のご挨拶も控えめでは有りましたが、多くのご来賓にご祝辞を頂き無事に執り行うことが出来ました。

この場をお借りしまして、日頃会務にご理解ご協力頂いております会員の皆様には、厚く御礼申し上げます。

斎藤保険部長の開会の辞をかわきりに、関口支部長の挨拶では、能登半島地震で亡くなられた方や、被害に遭われた方々が一日も早い日常を取り戻せますようにと、早期復興への思いとお見舞いの言葉を述べ、「川崎支部は行政との間で災害時の医療救護活動の協定を締結している。訓練を通じて確固たる防災体制を構築していきたい」と、強い言葉を述べました。

また、青木功雄市議会議長のご祝辞では、「川崎市が健康なまちであるために、今後も力を貸していただきたい」と強いメッセージを頂きました。

和やかな会も内野学術部長の閉会の辞で終宴となりました。

現役員も3年振りという事もあり、準備等色々相談させてもらいながら当日を迎えました。色々大変では有りましたが多くの方々にご臨席頂き、また終始和やかに終わりました事を役員一同大いに感謝申し上げますと共に、今後の活動にご協力申し上げましてここに報告させていただきます。ありがとうございました。









## 『横浜北支部意見交歓会』

横浜北支部 隆 淳 一



この度の能登半島地震において被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに犠牲になられた皆様の御冥福を深くお祈りいたします。被災地におけます一日も早い復旧・復興を心からお祈りいたします。

令和5年11月29日（水）新横浜グレイスホテルにて横浜北支部意見交歓会が比留間俊雄先生の司会のもと開催されました。始めに支部顧問医である、あしほ総合クリニック院長田中正顕先生よりご挨拶および整形外科の状況や症例をお話し戴き大変勉強になりました。

当支部の集まりは年2回程なので、その後行われた意見交歓会では出席者16名と少数ながら新しく入られた吉田茂先生や



日頃お会いできない先生方

と情報を共有する事が出来てとても有意義な時間を過ごす事となりました。



## 横浜南支部冬期学術講習会

横浜南支部 笠原秀造



2023年、新型コロナウイルス感染症の猛威も去りつつある中、2023年12月9日（土）に横浜中華街の「萬珍樓」にて、支部顧問医である浜田洋志先生を講師としてお招きし、学術講習会を兼ねた忘年会を行いました。

「膝が痛い どうする？」の表題で講習が進み、膝関節外傷である半月板損傷、靭帯損傷、骨軟骨損傷、滑膜（関節包）損傷などについて症状とテスト法や、治療に関して約1時間の講習をして頂き、我々柔道整復師にとって重要な部分でもある、観血的療法で行うべき疾患なのか非観血的療法で行うべき疾患なのかを判断する基準なども再度勉強する事が出来、大変有意義な講習会となりました。

浜田洋志先生におかれましては、日ごろから支部顧問医として多大なるご理解とご支援を頂き感謝申し上げます。



講習会後は、参加した会員で忘年会を行い、普段なかなかお話し出来ない大先輩の先生方や、若い先生方と情報交換、例えば、骨折整復時のコツや、ばね指ではどこを診ればいいのかなどの翌日から実践出来る話を沢山して、有意義な時間を過ごす事が出来ました。

本会の会員が減る一方の現在、こういった交流や情報交換、勉強会などを行っている事実をもっとアピールして、若い先生方との交流が増えたら柔整師会も新規会員もWIN-WINの関係が築けるのではと思いました。

## 令和5年度秦野市総合防災訓練

平塚支部 大久保 吉 純

令和5年9月3日、秦野市東中学校にて総合防災訓練が行われ、神奈川県柔道整復師会平塚支部から5名が参加いたしました。



コロナ禍で取りやめが続いていたので、4年ぶりの防災訓練。行政と会のつながりを維持するためにも重要な機会が再び得られたのは喜ばしいことです。

以前は災害時の患部固定法を紹介していたのですが、今回は医師会の方で応急処置の講習を行うとのことでテーマを変更することとなり、避難所での健康維持の為に体操を指導することとなりました。

限られたスペースで過ごさなければならない避難所生活で必要となるであろう、エコノミークラス症候群のような深刻なものへの対策や腰痛対策の指導を行う事だけでなく、来場者の要望に合わせて、日常で役立つ簡単な体操の指導も行いました。





限られた時間での指導でしたが、充実した指導ができたかと思われます。災害はいつ襲ってくるかわかりません。なにか起きてから学ぼうと思っても間に合いませんから、定期的に学ぶ機会を設けることが大事でしょう。

また、今回の防災訓練では、県議会議員の神倉寛明先生に参加していただき、名刺をいただきました。

先生は【医療機関等物価高騰対応支援金】の対象に柔道整復師を含めるように働きかけてくださったと言っておりました。柔整師に理解を示してくださる先生に柔整師会の活動を見ていただけた意義は大きいでしょう。

コロナ禍も終息したとは言い難いですし、不安定な世界情勢からくるエネルギー問題など社会を取り巻く様々な問題は今後も我々柔整師に重くのしかかってくることでしょう。行政の支援が必要になることも多いです。だからこそ、今回の防災訓練のような機会では積極的に行政の手助けをして、支援する価値のある団体であることをアピールすることを心がけたいものです。

# 大和市駅伝競走大会

## スポーツ健康相談ボランティア活動

大和支部 奥田智秋

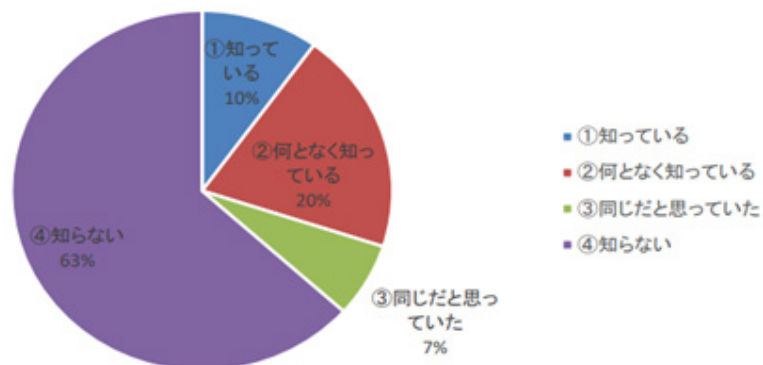
令和6年1月14日(日)神奈川県大和スポーツセンターにて大和市駅伝競走大会が開催されました。そこで大和支部ではスポーツ健康相談ブース、コンディショニングブースを設け高橋会員、永田会員、私の3名で当日実施しました。

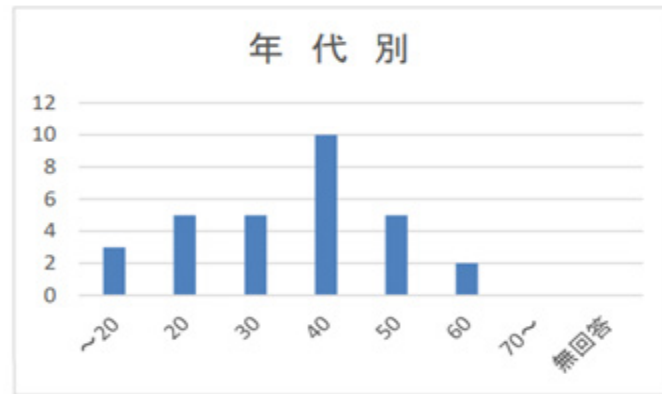
内容は当日の参加ランナーや観覧者又は大会設営スタッフの方々に健康相談、コンディショニングケアを通して競技後のケア、怪我の予防、日常生活での体の悩み相談、接骨院の認知の目的を持ちながら大会終了まで行いました。そして、利用した方に利用後アンケートの調査に参加をして頂き集計を取りました。

当日はスタート位置が前日に雨と雪が降った影響によりコースレーンに氷が張りスタート位置が変わるハプニングがあるほど気温も低い中実施され利用される方がどの位来るのか心配されましたが、30人を超える方々に実際に利用していただきました。

利用者の男女比率はやはり男性が多かったです。年齢は10代～70代までの方々が利用し40代が多く当日は大和市内の中学校対抗駅伝大会があったせいか10代の利用者がいたことに私としては驚きました。アンケートの結果の中で接骨院の認知、神奈川県柔道整復師会の認知の解答欄もありこれからもこのようなボランティア活動、地域貢献活動の大切さや重要性の感じる結果もあり今後大和支部として活動努力、周知に努めていかなければならないと思いました。

接骨・整骨とカイロ・整体の違いを知っているか





## 事務局だより

事務局長 小田通修

現在、事務局は事務局長以下7人が在籍しております。

歴史ある会館も長年の風雪のために、あちらこちらが痛み、昨年8月、事務局は現在の仮事務所に引っ越しました。少し手狭ですが「住めば都」で、工夫を凝らして事務所の機能を保っています。

老若男女が会員ファーストをモットーとして、頑張っています！



事務局長  
小田通修



八城幸代



松本裕美子



原田陽美



佐藤恵美

パート職員

岡本愛弓・藤井良支江



# 写 真 館



1月 城ヶ島水仙まつり (三浦市)



2月 まつだ桜まつり



3月 富士見の桜土手 (小田原市)



6月 開成町あじさいまつり

気象状況により花の開花時期はずれる場合があります。

撮影：小田原支部 山階裕介会員

## 編集後記

### 広報部

昨年(2023)の2月23日(木・祝)、横浜ベイホテル東急において本会創立100周年・社団法人設立75周年記念式典・祝賀会を菅義偉前内閣総理大臣、黒岩祐治神奈川県知事はじめ多くの皆様方のご臨席のもと盛大に行われました事は未だ記憶に新しいところでございます。

大正9年10月10日、警視庁において第1回柔道整復術試験が施行され、大正11年11月に神奈川県柔道整復師組合が結成されました。初代会長は小清水倉吉氏。大正12年9月1日、関東大震災が関東地方を襲いました。昭和11年12月、神奈川県柔道整復師会と改称し、さらに昭和22年12月22日、社団法人神奈川県柔道整復師会認可を受けて昭和23年1月7日に登記完了となっております。(当時会員数60名)しかし保険事務所が歴代会長宅から保険理事宅に移転するとなっております。昭和32年4月1日、本会事務所を個人宅より横浜市中区本町の大同ビル内に開設され、昭和35年7月20日に本会事務所を横浜市中区福富町西通48新福富町ビル内に移転いたしました。昭和43年4月21日の定時総会で本会齋藤武久会長のご尊父である齋藤武雄氏が第7代会長に就任され、11月16日には第1回日本柔道整復学会が開催されております。昭和52年3月20日には機関誌「和」の創刊号が発行されております。昭和52年12月11日、会館建設準備委員会設立。昭和54年2月15日、会館建設土地売買契約調印 横浜市港北区新横浜3丁目23番11号の面積621.5098平方メートルとなっております。昭和54年11月25日、第1回神奈川県柔道整復学会が横浜市従会館講堂で開催されました。同年12月8日には神奈川県立武道館で第1回神奈川県柔道整復師会柔道大会が開催されました。昭和55年7月23日、会館起工式が挙行され、12月6日には会館上棟式が挙行されました。昭和56年3月8日、会館竣工引き渡しがあり、鉄筋コンクリート造陸屋根二階建1階473.351平方メートル・二階495.673平方メートル。3月12日、長年の夢でありました事務所が新会館へ移転となっております。

以降、令和5年8月27日(日)まで会館は耐震工事や補修工事を行ってこなかったため老朽化が進んでしまい、漏電が発生すれば近隣住民や施設にも迷惑がかかることから、令和5年8月28日(月)より会館事務所を現在の横浜市港北区新横浜3丁目18-16新横浜交通ビル6F-Aに一時移転する事となりました。会館問題につきましては、改修して元に戻るか、取り壊して新しく建て直すか等国会館運営委員会を開催して会員皆様に充分納得される方法で解決すべく検討を行っており、近々会員の皆様にご報告できるところまで来ております。

先日、支部長会の方より進捗状況が遅いと叱責されてしまいましたが、社会状況や我々柔道整復師の暮らし振りを考えてみましてもここは慎重にならざるをえません。しかしながら大変良いこともあり、新横浜駅が東急相鉄線と繋がった利便性から地価が上昇しておりますので、会員皆様からの負担もなく新しい会館を持つことも可能な方法もあります。齋藤会長はじめ荻谷・田澤両副会長、私以外の5名の理事者そして監事の2名はとても頭脳明晰で間違った判断はせず信用できる人たちばかりですの

で、どうかご安心して信用してくださいますようお願い申し上げます。ながながと編集後記を書いておりますが、この度、広報誌「和」第87号刊行にあたりましては、会員皆様からの多大なるご協力を頂きまして誠に有難く、ここに謹んで御礼を申し上げますと共に、どうか今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。ありがとうございました。

### 表紙説明

#### 【生田緑地ばら苑】

ばら苑は昭和33年に開園され、川崎市と多数の市民ボランティアによって管理されています。当時は、品種の多さから「東洋一のばら苑」と言われていました。春と秋の年2回美しいバラが咲き誇り多くの人を喜ばせています。春の公開期間は2024年5月中旬頃予定。「かながわ花名所100選の一つ」  
場所：川崎市多摩区長尾2-8-1 交通：小田急線向ヶ丘遊園駅南口からばら苑正面ゲートまで徒歩13分。  
正面ゲートから坂道と階段を7分ほど登るとバラ苑です。

駐車場：あり

電話：044-978-5270

撮影者：小田原支部 山階裕介会員

## 世相川柳

平塚支部 石川照夫

出てくればやはり横綱一人勝ち

我が娘トンボ帰りの北旅行

三振とホームランとは紙一重

脱マスク笑顔が戻る栈敷席

目覚ましは妻の雷スマホベル

賑わいは三年前の笹飾り



令和6年3月1日

発行人 公益社団法人神奈川県柔道整復師会  
会 長 齋 藤 武 久  
〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-18-16  
新横浜交通ビル6階-A  
T E L 045-473-0735 (代)  
F A X 045-474-0628 (専)  
<http://www.sekkotu-kanagawa.com>

編集人 広報部長 宮 本 嘉 保

印刷所 有 限 会 社 吉 岡 印 刷  
〒232-0061 横浜市南区大岡3-4-8  
T E L 045-741-3452  
F A X 045-712-6823





